



「CheFuKoの皆様ありがとう！」
南米ベネズエラ
炊き出し支援先の子どもたち



<目次>

1. 福島応援オンラインお花見開催
2. ベネズエラ支援活動
3. ネパールからの便り
4. ウクライナ×福島

て、今後どのような将来像を描かれているのか等のメッセージと、映像配信一週間前に撮影した、【福島市花見山】の満開の桜や花々の映像を二〇二一年四月十日に配信しました。

ご覧いただいた皆様からは、「百花繚乱の花道を説明を受けながら共に歩む臨場感に感動しました」「チップを踏みしめる音や鳥のさえずり、鐘や風のお花たち、高橋さんの解説付きの贅沢なお花見でした。ありがとうございました。ありがとうございました」

「様々な立場の方々からメッセージを聞く事ができて非常に参考になりました」

「震災から十年経った今の率直な思いを聞くことができて良かった」

「原発事故による福島の汚染の現状が具体的によくわかりました」といった感想をいただきました。

配信した動画は、現在もCheFuKoのYouTubeページで公開しているので、是非ご覧ください。

福島応援オンライン 各方面からの



福島県議会議員 高野様

出演者の皆様

NPO花見山を守る会代表 高橋様に花見山をご案内いただき、企画当日は福島県議会議員 高野様とライブメッセージを配信していただきました。

- | | |
|--------------|-------|
| NPO花見山を守る会代表 | 高橋真一様 |
| 福島県議会議員 | 高野光二様 |
| 元南相馬市長 | 桜井勝延様 |
| 大熊町教育長 | 木村政文様 |
| 請戸港相馬双葉漁業 | 今井功様 |
| 福島学院大学教授 | 杉浦広幸様 |
| (右頁に続く) | |

〇二一年三月十一日、

東日本大震災から10年が経過しました。CheFuKoは、福島の方々の立ち上がりのお手伝いを、継続して活動してまいりました。そのため、震災から10年、という節目は、CheFuKoとしては特に思い入れが強くあります。

復興が進んでいない地域は今もなお多く存在し、復興とは程遠い現状があります。ただ、このコロナ禍でCheFuKoも福島に大人数で応援に向かうことはできなくなっていました。

そこでCheFuKoは、福島に住む方々の想いをコロナ禍でもより多くの人に届けたい、そして、より深く福島を知ってもらいたいという思いから「福島応援オンラインお花見」を企画しました。福島で被災し、この10年間、懸命にがんばってきた方々の想いに触れたり、「福島に桃源郷あり」と呼ばれる花見山からの絶景を動画配信サイトYouTubeで、ご自宅で視聴できる企画です。

内容としては、福島で頑張っている各方面の方々が震災からどのような思いで過ごされてきたのか、現在どのような活動をされてい

写真：NPO花見山を守る会 高橋様Facebookページより



お花見開催

メッセージもお届け

CheFuKoのYouTubeページもしくは下図QRコードでご覧いただけます。



- ウクライナNPO団体代表 エヴゲニア・ドンチェバ様
- おだか千本桜プロジェクト会長 佐藤宏光様
- レインボーハウス保育室園長 小久保多美子様
- 双葉郡浪江町 大内活一様
- 南相馬市大町災害公営住宅「きらきらサロン」の皆様

皆様お忙しい中、動画出演にご協力いただきありがとうございました！！



ベネズエラ支援活動

CUMANA MIA

クマナミア
～誰も置き去りにしない～



ベネズエラで新たな支援が始まりました！

カリブ海に面したベネズエラ北部に位置するスクレ州の州都クマナで活動するNGO「クマナミア」を新たなパートナーとして支援を開始しました。

クマナミアは、2019年2月からクマナ市内で子ども食堂を運営している非営利団体です。スクレ州の一人当たりの収入は1日1ドル未満であるため、クマナ市には子ども食堂を切実に必要とする多くの子どもたちがいます。中でも、慢性的な栄養失調の1～10歳の子ども40人を対象として、子ども食堂は始まりました。子ども食堂は慢性的な栄養失調を止め、克服することを目的としています。

クマナミアの活動は、カトリック教会、子ども病院、国際ロータリークラブ、教師や心理学者など様々なボランティアと協力しながら行っています。

代表のミランダ・ポンセさん（写真右）は、ご自身も3人の子どもの母親である女性ですが、精力的に活動を行っています。クマナでは停電がたびたび起こり、インターネット環境も整っていないため、連絡がなかなか取れないのが難点です。

子ども食堂の参加者は、子ども達の栄養失調の状態に応じて決めるため、定期的に身長・体重の計測（写真下）や医療会議を行っています。また、必要に応じて、体調の悪い子どもに薬も提供しています。



子どもが大好きなミランダさん



子ども食堂の食事の準備はボランティアが行います。以前はガスや電気で調理をしていましたが、経済状況が悪化し最近ではそれらが手に入らないため、野外で薪を使って煮炊きしているそうです。



サンディエゴ炊き出し報告



5月29日現在、バレンシア市サンディエゴの貧困地域への炊き出しは17回目を迎えました。地域の方から「子どもたちのために食べ物をありがとうございます。この国の情勢を知っていただき、手を差し伸べていただけて本当に感謝しています。」「経済危機のために私たちを助けてくれるのはあなた達だけです。」「支援ありがとう!」など、様々な声をいただいています。



年月日	支援回数（食事配布人数）
2021年1月31日	炊き出し支援10回目（122人）
2月21日	11回目（122人）
4月10日	12回目（126人）
4月22日	13回目（122人）
5月 2日	14回目（122人）
5月 8日	15回目（125人）
5月16日	16回目（122人）
5月29日	17回目（125人）

CheFuKoは引き続き、ベネズエラ支援を続けて参ります。
『ベネズエラ子ども救済募金』を宜しくお願い致します。





ネパールからの便り



ネパール里親プロジェクト支援先に パソコン4台を寄贈しました！

ネパールではコロナの影響で、昨年4月から学校の休校が続いていました。里親プロジェクト支援先であるライジング・ロータスでは、オンライン授業を受けるのにパソコンが1台しかないために、とても困っていました。

そこでCheFuKoは中古のラップトップ・コンピューター4台を寄贈することにしました。コロナ禍で現地に行くことができないため、国際輸送サービスを使って2月上旬に現地に届けました。

現地からは、パソコン4台が届いて、快適にオンライン授業が受けられるようになったと、喜びの声が届きました。

今回送付した中古パソコンは、NPO法人Class for Everyone様からご提供いただきました。ありがとうございました。



今年も寄付金を送金



昨年に引き続き、今年も里親プロジェクト支援先のライジング・ロータスとラダ・クリシュナコミュニティセンターに今年度分の寄付金を5月中旬に送金しました。本来なら現地に赴き、支援者の皆様のお気持ちをのせて直接、手渡しをしたところなのですが、コロナ禍の今は出来ることが限られます。

今年も送金できたのは、ひとえに支援者の皆様のおかげです。いつもありがとうございます。



カンダ村初のSEE受験生が誕生！

チトワン郡カンダ村出身のサンジュは9歳の時にライジング・ロータスにやってきました。カンダ村は移動農耕民のチェパン族が住む、非常に貧しい村です。彼女はカンダ村で初めてボーディングスクール（英語で教育をする私立学校）に通った子どもです。そして最終学年の今年、SEE（中等教育修了試験）を受ける予定ですが、これもカンダ村初の快挙となります。

先日SEEのプレテストが行われ、その結果が送られてきました。本番まであと少し。CheFuKoスタッフ一同、応援しています！





ウクライナ×福島



1986年4月26日にウクライナで起こったチェルノブイリ原子力発電所の事故から今年で35年を迎えました。チェルノブイリ原子力発電所の事故による被害は強制移住等を含め、数十万人以上とされています。

事故の放射線被曝と癌や白血病との因果関係を直接的に証明する手段はないものの、統計では原発事故以降に急激に増加したと確認されており、35年が経過した現在も、後遺症や病気を患った方々やその子ども・孫たちは被害に苦しんでいます。



この絵は、ウクライナの中学生が福島との友好と復興を祈願して描いてくれました。

福島もウクライナと同様、放射能事故の対応には途方もない時間が掛かると思いますが、一日でも早い事故の収束を祈るばかりです。そして、その将来を変えていけるのはこれを見てくださっている皆様を含む私たちです。少しでも協力の輪を広げていけるよう、CheFuKoは今後も尽力してまいります。

オブルチ第三中学校の子どもたちが送ってくれたこの絵には「希望をもって生きていきましょう」、「私の心はいつも、あなたたちのそばにいます」といったメッセージが添えられていました。

ウクライナの学生がメッセージカードを箱一杯に詰めて郵送してくれました。メッセージカードには折り鶴や、動物の切り抜きなど丁寧に作られていて復興を応援する気持ちが伝わってきました。福島市にあるレインボーハウス保育室の子どもたちにお渡ししました。



福島市レインボーハウス保育室園長 小久保多美子様と子どもたち

これらはNPOチェルノブイリホステージ基金のドンチェバ様が企画してくださいました。

CheFuKoのYouTubeページ「福島応援オンラインお花見」の動画でドンチェバ様の「ウクライナの現状と東日本大震災から10年について」のお話しをご覧ください。右図QRコードから今すぐアクセス！



CheFuKo

Video Editor



ジトームル市や北方地域は放射能の雲に包まれました。

★お困りの方へ 寄贈のお知らせ★

大熊町立大熊小中学校様より、生活にお困りの親御様へご寄贈くださいと、温かなお気持ちのこもった小中学生用品を沢山戴きました。親戚やご友人、施設でお困りの方がいらっしゃいましたらCheFuKoへご一報ください。状況をご相談の上、商品無償、着払いにて発送させていただきます。

一般社団法人世界の子供たちのために事務局 担当：久保
E-mail : info@chefuko.org / TEL : 03-5577-3155



小中学校 上履き



鉛筆削り



書道セット



ランドセル(赤)多数



全て
未使用品です。



学習ノート多数



マーカー



鉛筆多数

他にも…

- 運動用Tシャツ
- ジャージ短パン
- 画用紙
- 子ども用下着 (シャツ・パンツ)
- などがございます。

お気軽にご連絡ください!

～編集後記～

新型コロナウイルス蔓延の影響が続いており、海外渡航は難しい状況で、国内の活動先である福島支援も感染状況を見つつ行っております。先が見えない状況ですが、私達が今できる活動を続け、ベネズエラで新しい支援を始めることができたのは一歩前進となりました。今後も模索しながらの活動が続きますが、引き続きご理解ご支援を賜りますよう、どうぞよろしくお願い致します。

発行：一般社団法人 世界の子供たちのために (CheFuKo)

〒101-0062

東京都千代田区神田駿河台2-5-1住友不動産御茶ノ水ファーストビル8階

TEL : 03-5577-3155

FAX : 03-3291-0011

E-mail : info@chefuko.org

URL :

<http://www.chefuko.org>



<https://www.facebook.com/CheFuKo/>



@CheFuKo_japan



Instagram



CheFuKo通信 vol.18
2021年6月24日発行